

## もっと安心農産物 キャベツ(春どり) 栽培暦 (令和5年度)

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

### 1. 土づくり

・完熟堆肥2トン/10aを施用するか、エン麦・ギニアグラス・ハブソウを輪作体系として作付けする

### 2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 化学肥料窒素成分使用量14kg/10a以下

基肥は①、②、③のいずれかを選択する。

	肥料名	施肥量
基肥	①マイルドユーキ030号(10-13-10 有機態窒素 5.3)	120kg/10a以下
	②エコレット866(8-6-6 有機態窒素 4.1)	160kg/10a以下
	③ちばみどり有機888(8-8-8 有機態窒素 1.2)	160kg/10a以下
	苦土石灰	60kg/10a
追肥	マイルドユーキ030号(10-13-10 有機態窒素 5.3)	40kg/10a

### 3. 防除 化学合成農薬 8成分回数まで (苗購入の場合6成分回数まで)

(Zボルドー・スピノエース顆粒水和剤・エスマルクDFは化学合成農薬に含めない)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)	
10月	播種	ネキリムシ ↑ ヨトウムシ ↑ アブラムシ・コナガ ↓ 菌核病	①ネビジン粉剤又はネビリュウ	20~30kg/10a (播種又は定植前)	2回	根こぶ病	害虫の発生量を減らすため圃場周辺の除草をする 育苗床は害虫防除のため寒冷紗でトンネル被覆をする	
			②カルホス微粒剤F	6kg/10a (播種時又は植付時)	1回	ネキリムシ類		
			11月	↑	エスマルクDF	1000~2000倍 発生初期(但し、収穫前日まで)	—	コナガ
1000倍 発生初期(但し、収穫前日まで)	—					ヨトウムシ ハイマダノメイガ		
12月	定植				③フォース粒剤	4kg/10a (定植時)	1回	ネキリムシ類
1月上旬			④アフーム乳剤	1000~2000倍 (収穫前日)	3回	コナガ ヨトウムシ		
1月中旬	結球初期		↑	Zボルドー	500倍	—	黒腐病	アブラムシ類発生の場合は、 ⑧モスピラン顆粒水溶液を2000~4000倍(収穫7日前・5回)散布する。アブラムシ類・ネギアザミウマ発生の場合は⑨コルト顆粒水和剤を3000倍(収穫前日・3回)散布する
1月下旬				追肥	⑤トルネードエースDF	1000~2000倍 (収穫7日前)	2回	
2月上旬	コナガの発生が多い場合は、 ⑩フェニックス顆粒水和剤2000~4000倍(収穫前日・3回)⑪プレオフロアブル1000倍(収穫7日前・2回)⑫コテツフロアブル2000倍(収穫前日・2回)⑬ハチハチ乳剤1000~2000倍(収穫14日前・2回)スピノエース顆粒水和剤2500~5000倍(収穫3日前・3回)等を散布する							
2月中旬								
2月下旬	収穫	↓	⑥グレーシア乳剤	2000~3000倍 (収穫7日前)	2回	コナガ ウワバ類 アオムシ		
5月 ~								

☆みんなで守ろう生産基準